



「スマホはどこまで脳を壊すか」

講師：東北大学加齢医学研究所助教 **榎 孝平** 様

プロフィール

1989年生れ、東北大学理学部卒・同大学院博士(医学)、同大学川島隆太教授指導の下で認知機能・精神衛生・対人関係能力を向上させる脳科学的な教育法の開発を目指した研究活動に従事。シドニー大学研究員、日本学術振興会特別研究員等を経て、現在は東北大学加齢医学研究所応用脳科学研究分野にて再び川島教授の下で助教として従事。また仙台市教育委員会「学習意欲の科学研究に関するプロジェクト」委員。新著「スマホはどこまで脳を壊すか」朝日新書。

スマホを少し我慢するだけで前頭前野を鍛える最高の脳トレに○スマホの使い過ぎが子どもたちの学力を「破壊」○睡眠時間が短いと海馬の容量も小さい○タブレット学習では脳がはたらかない?○オンライン会話では脳と脳が同期しない○SNSで「つながる」はずが孤独に○「ネット依存」とアルコール依存の類似性○オンライン頼りが認知症リスクを高める?以上は講師の榎浩平氏著川島隆太氏監修による「スマホはどこまで脳を壊すか」の裏表紙に記載された文章です。衝撃的言葉と本の内容です。私たちが日常使用しているスマホの脳への影響、成長期の子どもたちの脳の発達が遅れ、成人は心の不安や抑うつ傾向が高くなることが調査研究で明らかになりました。

近年、コロナ禍でオンライン・コミュニケーションが拡大されてきましたが政府が言う「デジタルの活用でひとりひとりの幸せを実現」を無原則で受け止めるのか?榎講師は気鋭の研究者です。危険性と如何に立ち向かうのか!わかりやすくお話しいただきます。私たちが常に手にするスマホへの関心が深くなることを期待します。事前にテーマと同じ書籍をお読みいただくと幸いです。ご参加お待ちしております。

日時 2023年 6月16日(金) 午後6時開場 / 午後6時20分講演開始～午後8時終了

会場 神奈川県地域労働文化会館2階会議室
(横浜市南区高根町1-3 ☎045-251-9721)
アクセス 市営地下鉄阪東橋駅徒歩2分 京急黄金町駅徒歩5分 JR関内駅徒歩15分

会費 1,000円(資料代) 学生無料

主催:(一社)勁草塾 代表理事 齋藤 勁

後援:神奈川新聞社、東京新聞横浜支局、タウンニュース社、横浜市教職員組合(順不同)

協力:(公社)日本ジャーナリスト協会

*参加お申込みの方は、下記までEメールまたはFAXで。先着100名様で締切らせていただきます。

一般社団法人 勁草塾横浜事務局 e-mail : t-saitou.jimusho@zd.wakwak.com FAX 045-315-7540

勁草塾講演会(2023年6月16日)

申し込み

お名前

連絡先